第２回　嵐山町上下水道事業運営審議会

嵐山町水道事業
経営戦略と料金について
（案）

嵐山町上下水道課

目次

1　料金検討について　・料金検討の進め方

2　将来見通しの見直し結果　・水需要予測
・料金収入の見通し
・料金改定の必要性について

3　水道料金体系について　・水道料金の仕組み
・現行料金体系について
・料金体系案

4　今後のスケジュール　・審議会開催予定

1　料金検討について

・料金検討の進め方

料金検討の進め方

条件設定

- 水需要予測
- 料金収入の見通し
- 財政シミュレーション

料金検討

- 料金水準（改定率）
- 料金体系のあり方
  （基本水量制
  基本料金・従量料金の割合
  口径別の料金等）

料金改定の決定

2　将来見通しの見直し結果

・水需要予測（R５実績追加による見直し）

・料金収入の見通し

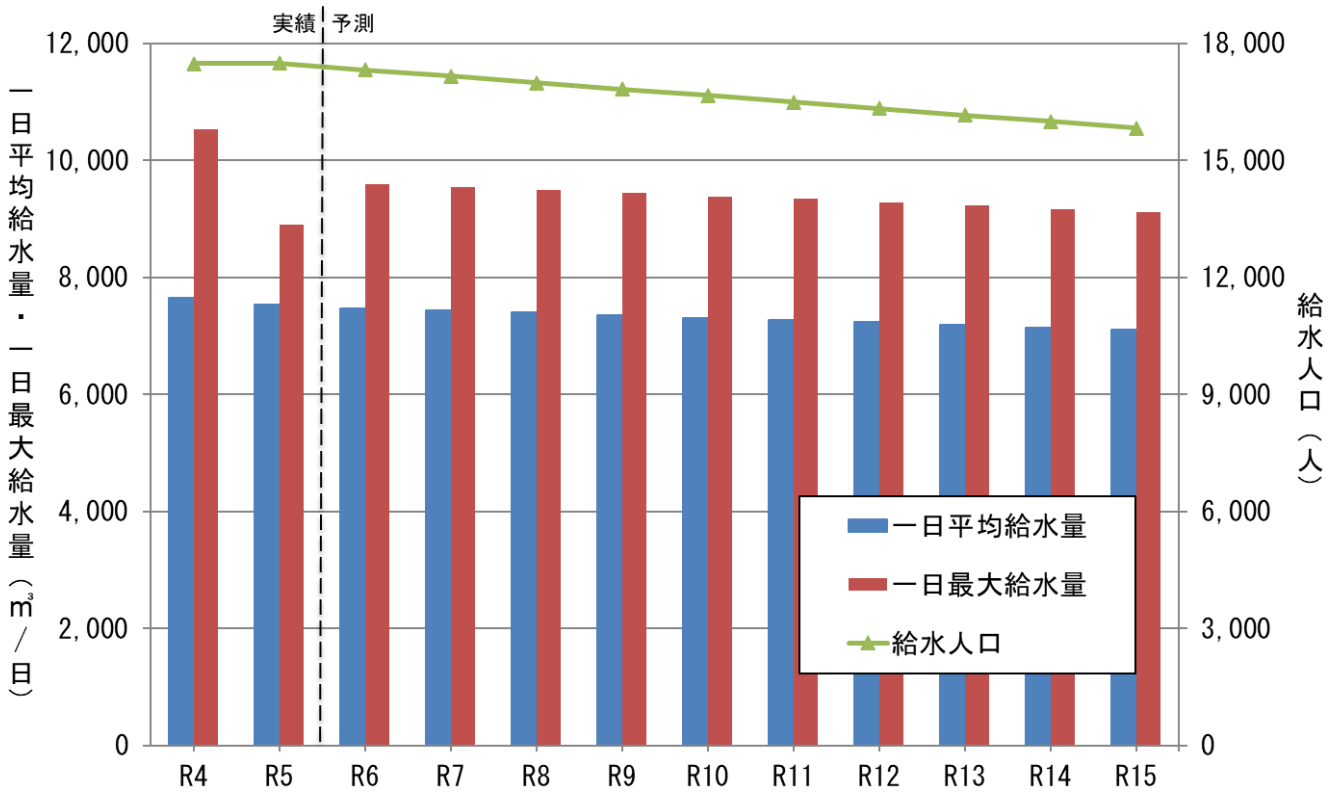
（R5実績追加・ランク別予測による見直し）

・料金改定の必要性について

（上記見直しを反映した必要改定率の見直し）

水需要予測（R5実績追加による見直し）

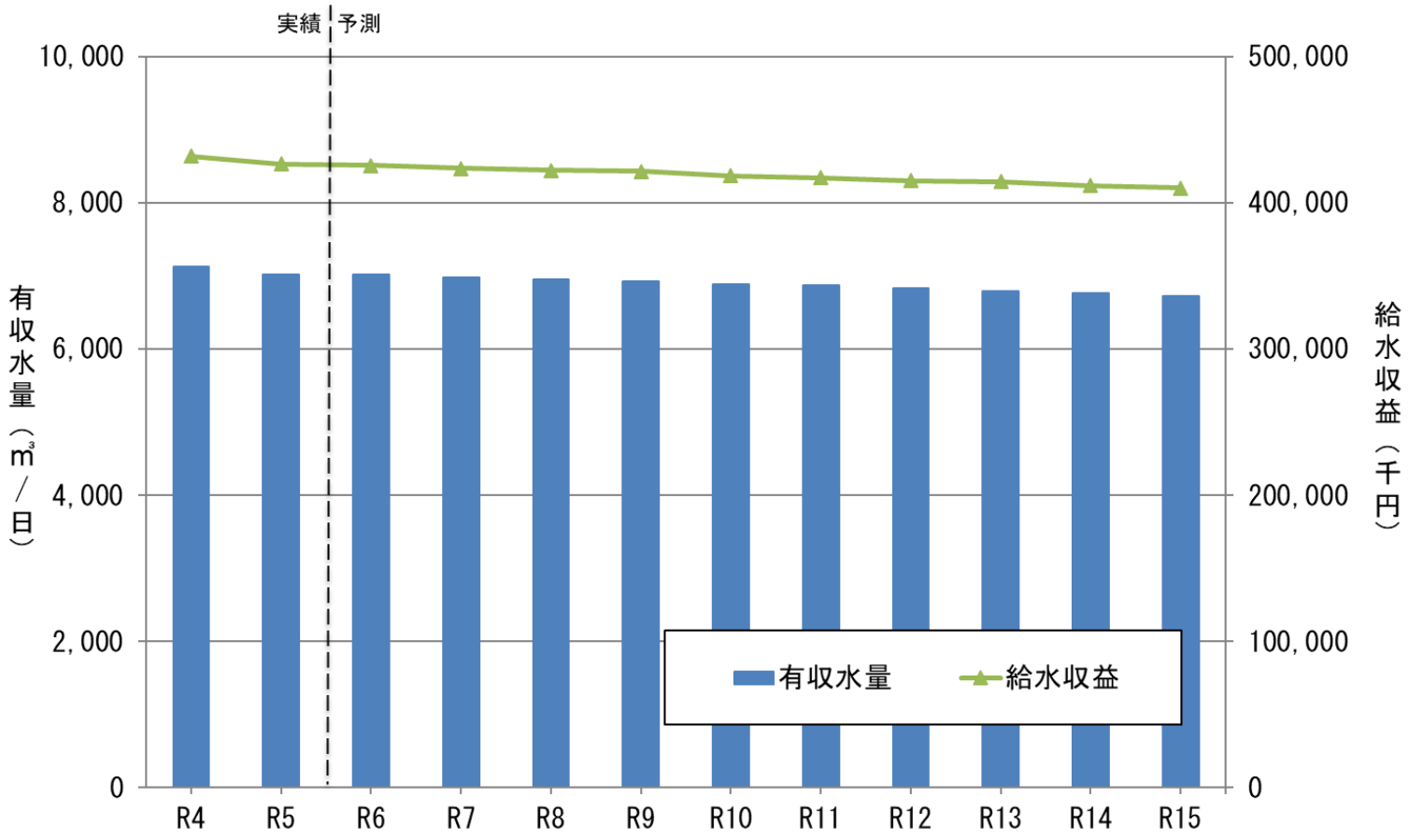
給水人口の減少に伴い、給水量は今後減少傾向となる見込みである。更新に伴う施設規模の適正化により、給水量の減少に対応していく必要がある。



※令和9年の産業団地及び商業施設の誘致の計画による水量については、詳細が不明であるため見込んでいない。

料金収入の見通し（R5実績追加・ランク別予測による見直し）

有収水量の減少に伴い料金収入も減少する見通しであることから、経営状況は厳しくなり、経営戦略の計画最終年度であるR15年度にはR5年度から3.9％減少すると予想される。



※令和9年の産業団地及び商業施設の誘致の計画による水量については、詳細が不明であるため見込んでいない。

※R4,5年は基本料金の減免を含んだ実績値であり、R6年度は予算である。

料金改定の必要性について（見直しを反映）

令和8年度及び令和13年度に、10％及び15％の料金改定をした場合では、収益的収支は赤字となる見通し。

計画期間において、常に黒字を確保するためには、20％以上の料金改定が必要となる見通しとなっている。

改定率別の結果まとめ

単位：千円

項目		説明		料金改定率				目標値
			改定無し	10%	15%	20%	25%	
①	純利益	赤字年度	R9~R15	R11,12,14,15	R12	なし	なし	赤字年度なし
②	料金回収率	R15予測値	77%	93%	102%	111%	120%	111%

３　水道料金体系について

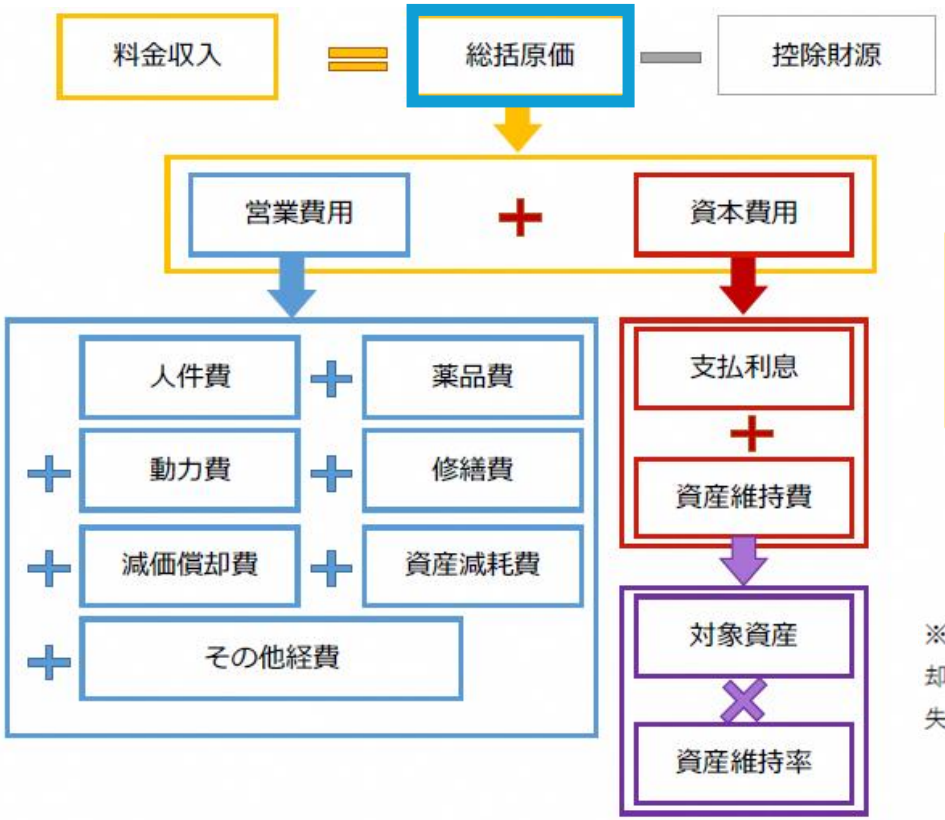
・水道料金の仕組み

・現行料金体系について

・料金体系案

水道料金の仕組み

○事業運営に必要となる費用（総括原価）を、料金収入で補っている
○総括原価は、事業活動に伴って生じる営業費用と、水道施設を維持するための設備資金の調達に発生する資本費用の２種類に分類

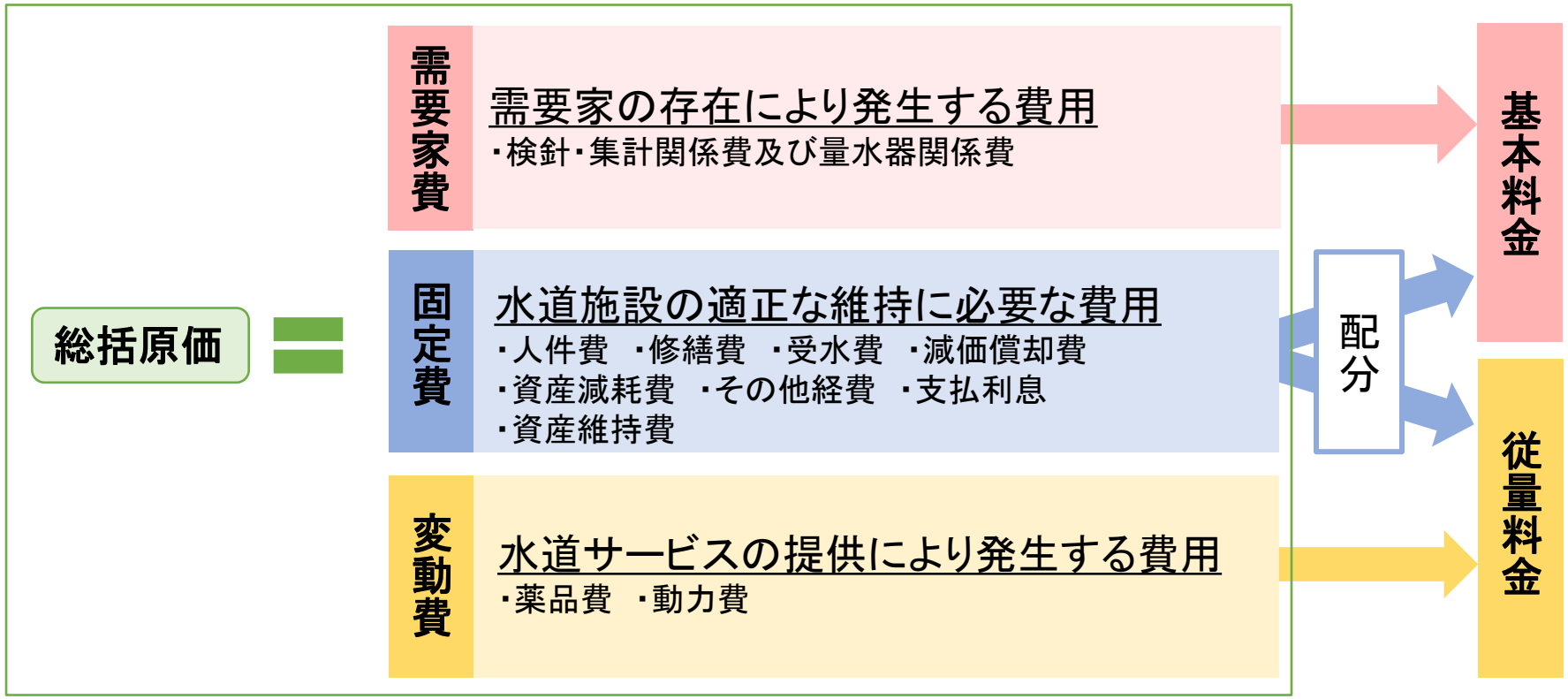


総括原価：
事業を適切に運営・維持・拡充強化していくために必要な費用の合計

※その他経費は収益的支出から人件費、薬品費、動力費、修繕費、減価償却費、資産減耗費、支払利息、対象外費用（受託工事費、雑支出、特別損失）を除いた額

水道料金の仕組み

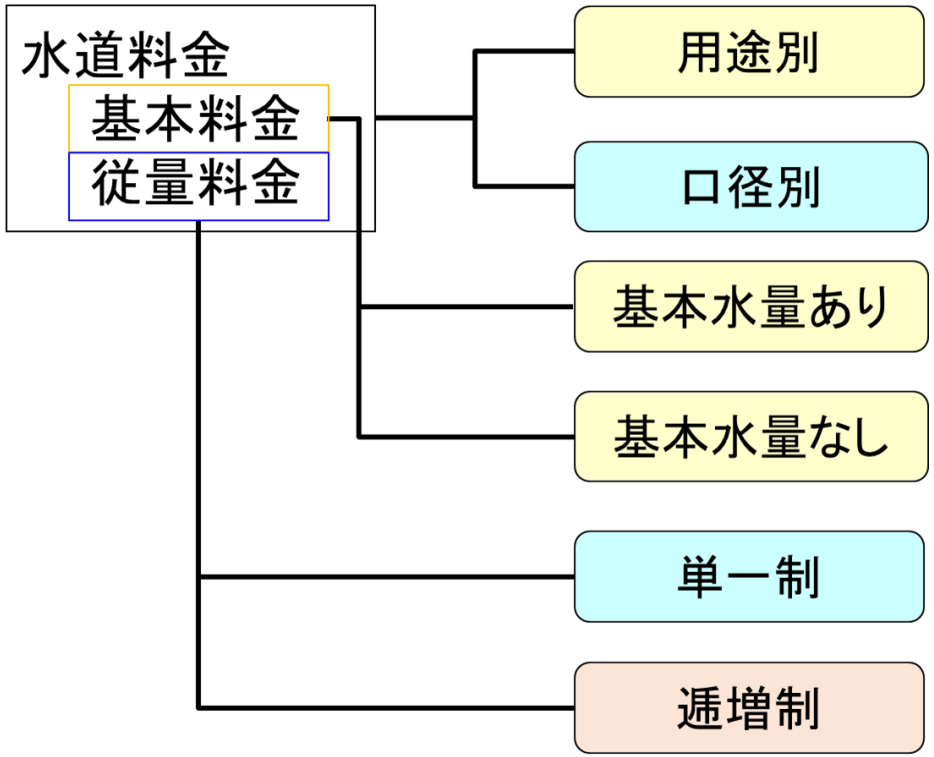
○ 総括原価は、費用の性質により、「需要家費」「固定費」「変動費」に分解
○ 分解された費用は、使用水量によらずに負担してもらう「基本料金」と
　使用水量に応じて負担してもらう「従量料金」に配分し、水道料金として回収



変動費は全額使用料金で賄い、固定費は基本料金・使用料金の双方で賄う。
固定費の基本料金・使用料金への配分割合は事業体ごとに独自で設定

水道料金の仕組み

○料金設定の特性により、「用途別料金体系」と「口径別料金体系」の２種類
○更に、従量料金において「単一制料金」と「逓増制料金」や、基本水量の設定がある



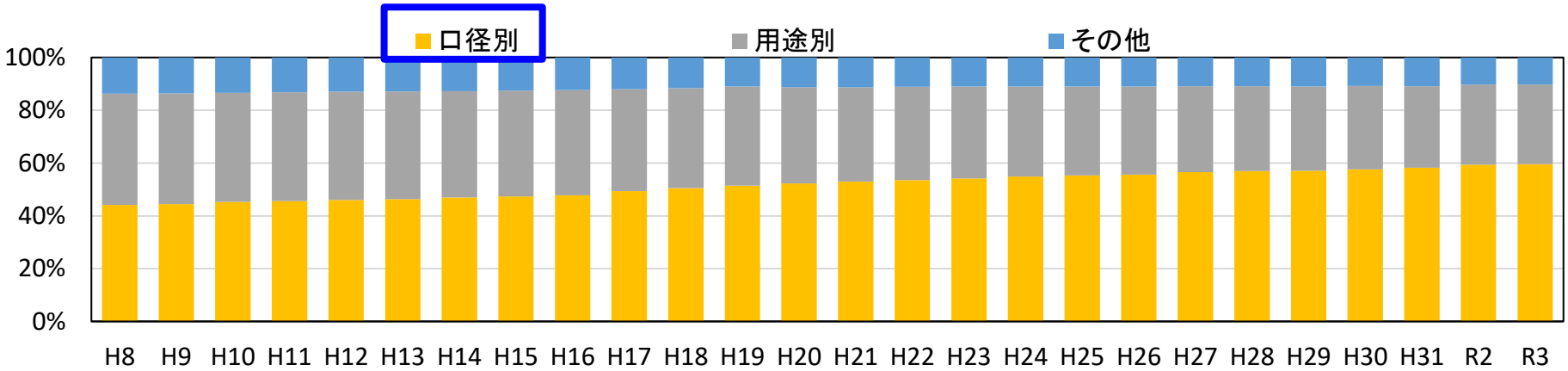
水道料金の仕組み

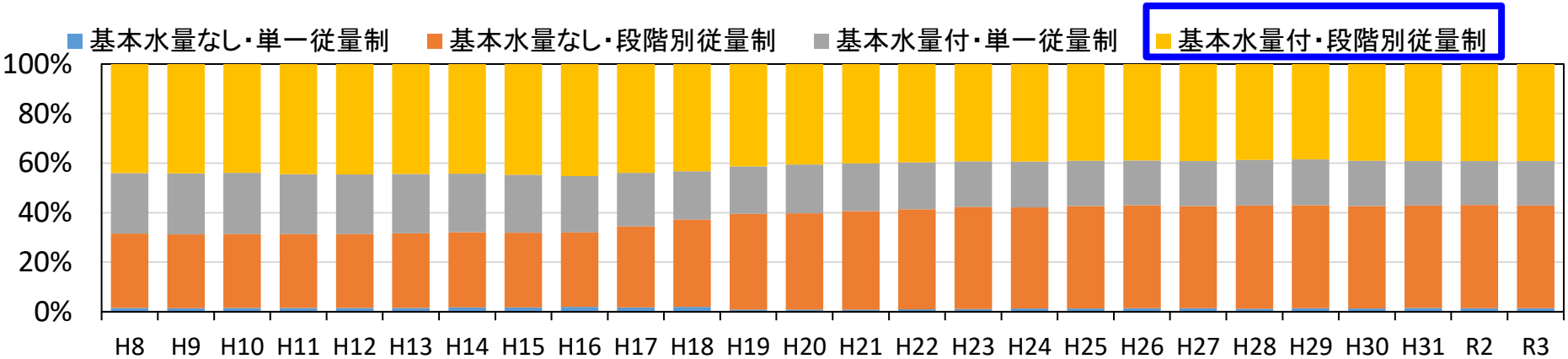
体系別種類	特　徴
用途別料金体系	● 需要者の負担力やサービス価値の差とその用途を基準として価格を設定 ● 生活用水の低廉を図る目的とした体系であり、公共性を重視した料金体系
口径別料金体系	● 料金を個々のサービスの供給に必要な原価をもとに価格を設定 ● 個別原価並びに量水器口径別を用いた体系であり、客観的公平性の観点からの料金体系
従量料金体系別種類	**特　徴**
単一制料金体系	● 個別原価主義から、使用水量に対し同一単価を設定するもの
逓増制料金体系	● 多量使用の抑制を目的に、使用水量増加に対して高い単価を設定するもの
その他体系別種類	**特　徴**
基本水量制	● 公衆衛生上の観点から、一定水量までの料金を基本料金内に設定することで、水の使用を促すとともに、一定区間の料金の低廉化を図るもの

水道料金の仕組み　全国的な動向

○全国の水道事業体では、用途別から口径別へ移行の方向
○料金制度における<u>基本水量制は廃止の方向</u>

全国の料金体系の推移





出典：公益社団法人日本水道協会「水道料金表」より作成

※嵐山町の現行料金体系

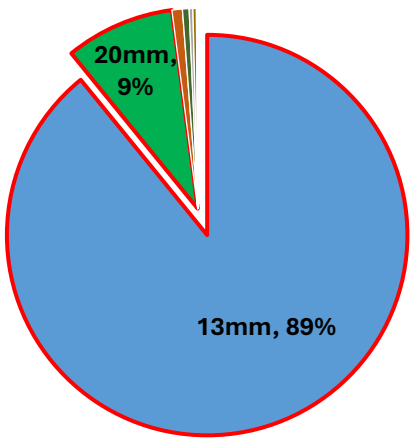
現行料金体系について　本町の水道料金（再掲）

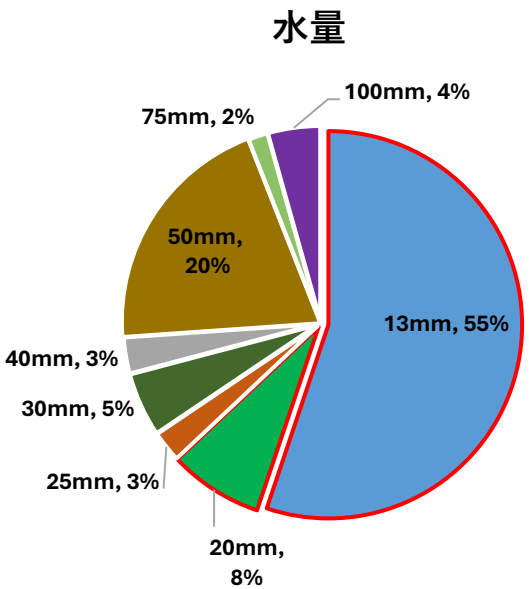
・口径別料金体系
・基本料金・従量料金に分かれた二部料金制
・基本料金は、一定の水量まで料金が一律となる基本水量制
・従量料金は、使用水量に応じて1㎥あたりの単価が上昇する逓増制料金
・生活用（一般需要者）に配慮し、口径13mm及び20mmは、安価な設定

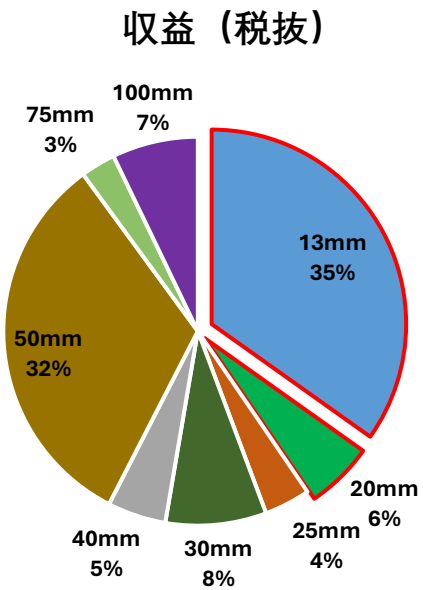
メーター口径	基本水量（m^3）	基本料金（円）	従量料金（円/m^3）
13mm 及び 20mm	5 まで	550	6 ～10m^3　82.5 円 11～20m^3　93.5 円 21～30m^3　154.0 円 31～50m^3　209.0 円 51m^3～　242.0 円
25mm	10 まで	3,300	11～20m^3　110.0 円 21～30m^3　187.0 円 31～50m^3　242.0 円 51m^3～　291.5 円
30mm	10 まで	4,400	
40mm	10 まで	7,700	
50mm	10 まで	12,100	
75mm	10 まで	25,300	
100mm	10 まで	44,000	

件数・水量・収益の割合

・件数は、13mmが9割、20mmが1割で家庭用がほとんどを占めている。
・水量は、13mmが6割で、家庭用が半数以上を占めており、
50mmも2割と使用水量が多い。
・収益は、13mmが4割、50mmが3割となっている。



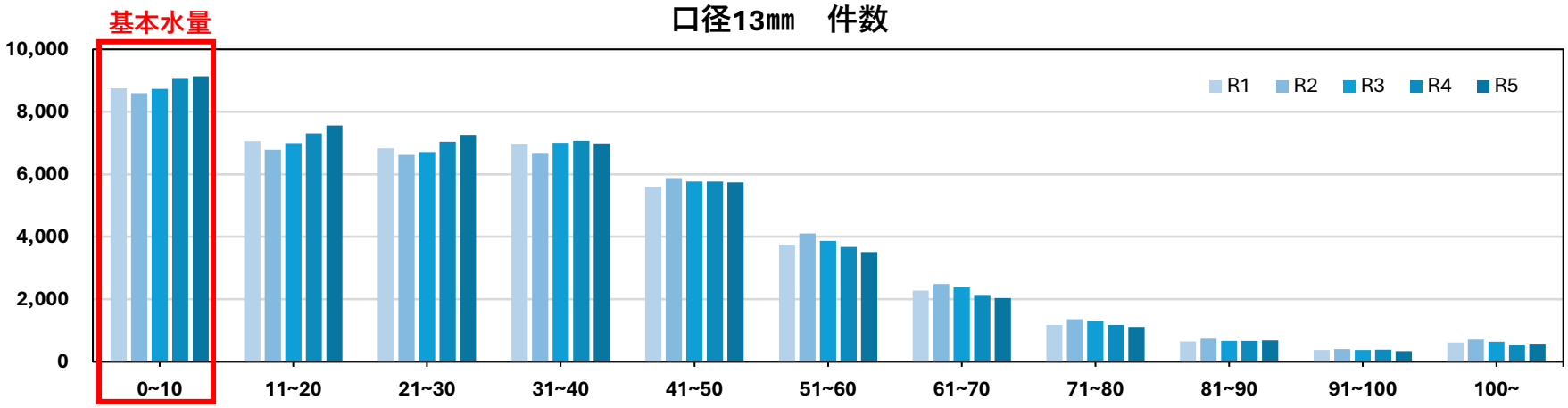


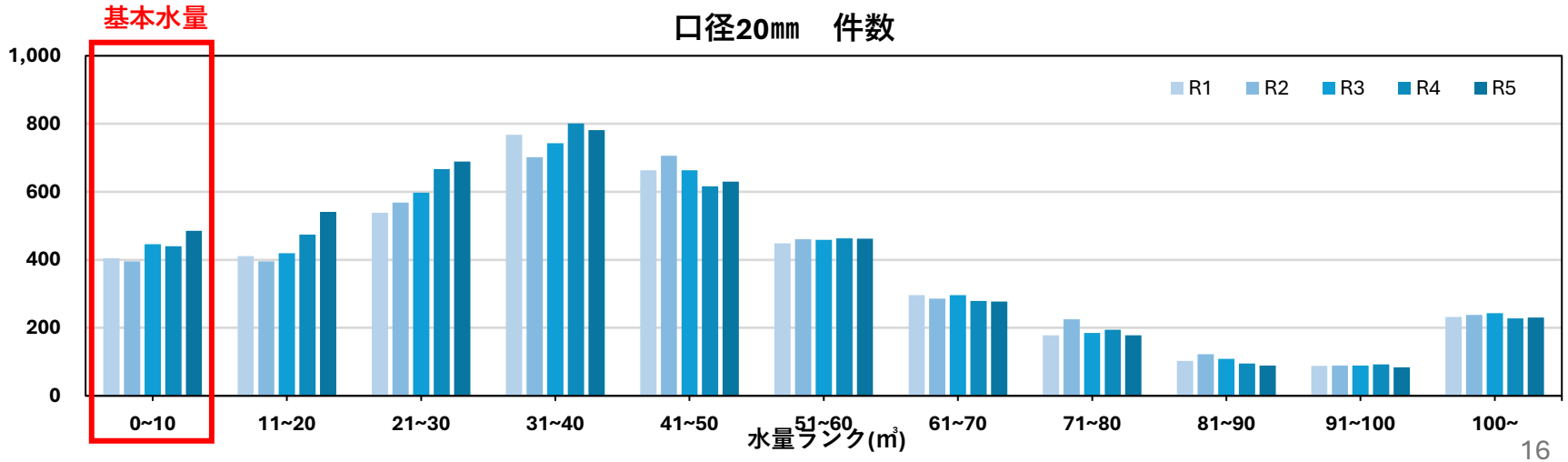


現行料金体系について　基本水量制

○基本水量の範囲内（基本料金のみ徴収）の戸数は13mmで約20%、20mmで約10%、全口径で約19％である。

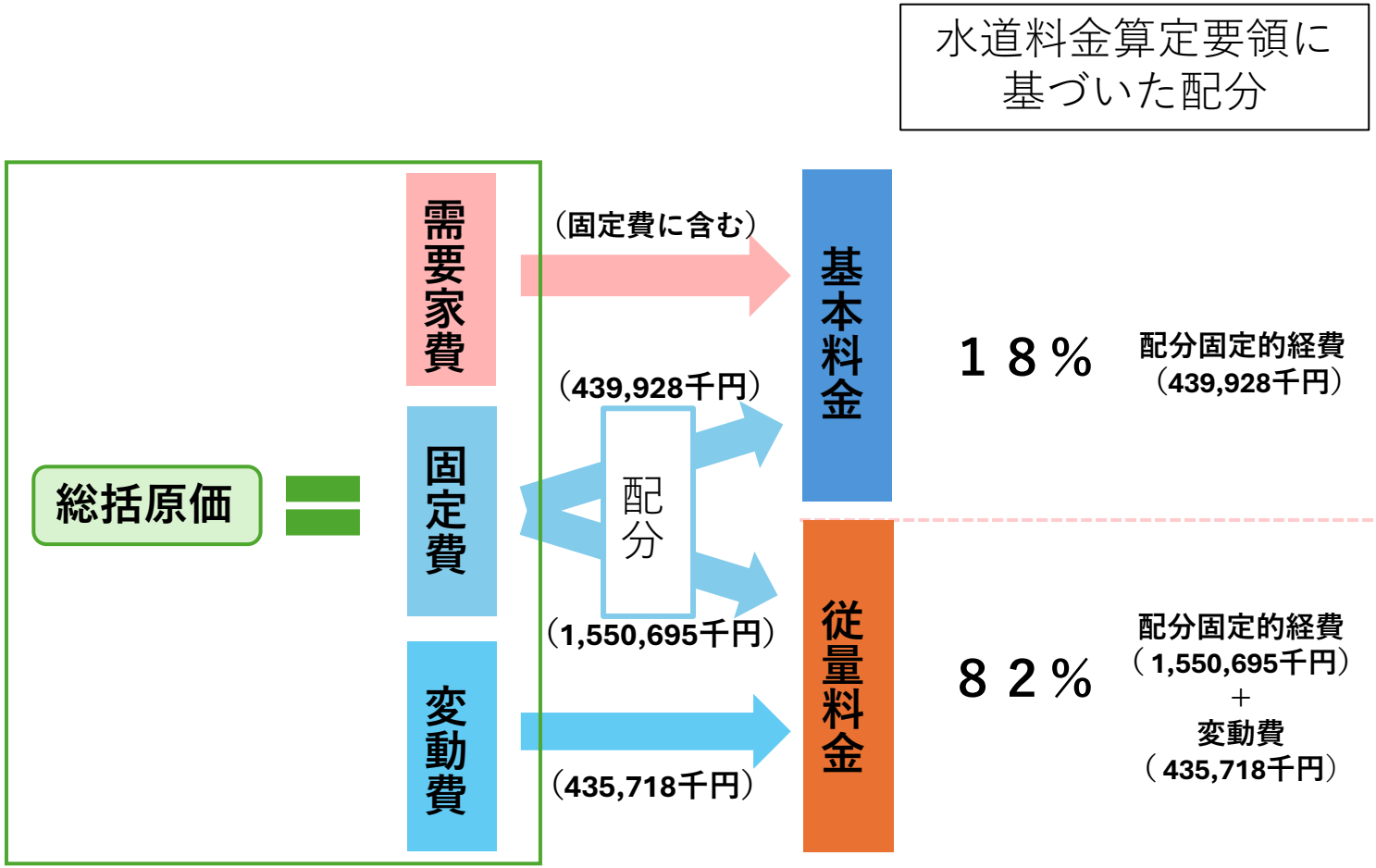
→基本水量制の目的の一定水量の使用を促す効果が発揮されていない
基本水量制の廃止を検討





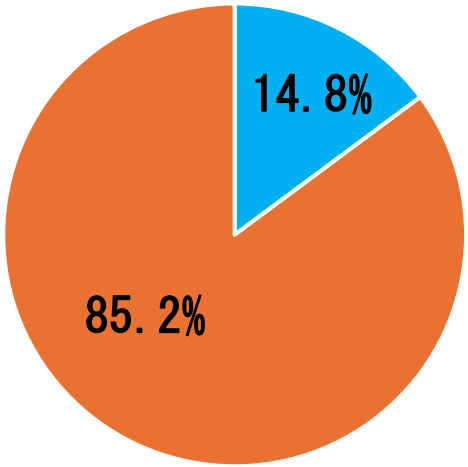
現行料金体系について　原価の配賦

【総括原価の配分(R8～R12合計)】



現行料金体系について　基本料金・従量料金の割合

・現行の料金体系では、基本料金比率は約15%、従量料金比率は約85%
・準備料金相当額と水量料金相当額の比率が18%と82%に対して、
　基本料金の比率がわずかに低い。
➡基本料金の割合を高めることが望ましい。



■基本料金　■従量料金

※現行の料金体系での料金算定期間(R8～R12)平均値

料金体系の設定方針

【水道料金改定（案）の設定方針】

今後必要となる収入の確保（料金改定率20%の設定）

（1）　口径別料金体系の維持

（2）　基本水量の廃止

- 基本水量を廃止し、13・20mmは0~5㎥、25mm以上は0~10㎥に従量料金を設定する。
- 従量料金は一つ上のランクの1/2の額とする。

（3）　基本・従量

- 基本料金の割合を高めるため、基本料金の値上げ率を従量料金の値上げ率よりも高く設定する。

（4）　家庭用への配慮

- 13・20mmの値上げ率を低く設定する。

（5）　大口利用者への配慮

- 25mm以上の水量ランク51㎥～の従量料金の値上げ率を低く設定する。

■　【設定案①】→　（1）を反映
■　【設定案②】→　（1）・（2）を反映
■　【設定案③】→　（1）～（3）を反映
■　【設定案④】→　（1）～（4）を反映
■　【設定案⑤】→　（1）～（5）を反映

設定案①

・基本料金、従量料金ともに20%の値上げ

・13mm,20mm料金(税込)（20㎥/月）：1,897円　→　①　2,275円　（＋378円）

・50mm料金(2000㎥/月)：588,335円　→　①　704,430円　（＋116,095円）

現行			
基本料金		従量単価	
１３mm	550	１３・２０mm	
２０mm	550	0～5	0
２５mm	3,300	6～10	82.5
３０mm	4,400	11～20	93.5
４０mm	7,700	21～30	154
５０mm	12,100	31～50	209
７５mm	25,300	51～	242
１００mm	44,000	２５mm以上	
		0～10	0
		11～20	110
		21～30	187
		31～50	242
		51～	291.5

①			
基本料金		従量単価	
１３mm	660	１３・２０mm	
２０mm	660	0～5	0
２５mm	3,960	6～10	99
３０mm	5,280	11～20	112
４０mm	9,240	21～30	184
５０mm	14,520	31～50	250
７５mm	30,360	51～	290
１００mm	52,800	２５mm以上	
		0～10	0
		11～20	132
		21～30	224
		31～50	290
		51～	349

設定案②

・基本水量の廃止　→　13・20mm　0~5㎥単価　47円/㎥

　　→　25mm以上　0~10㎥単価　63円/㎥

・基本料金、従量料金ともに15％の値上げ

・13mm,20mm料金(税込)（20㎥/月）：1,897円　→　②　2,407円　（＋510円）

・50mm料金(2000㎥/月)：588,335円　→　②　676,765円　（＋88,430円）

現行			
基本料金		従量単価	
１３mm	550	１３・２０mm	
２０mm	550	0～5	0
２５mm	3,300	6～10	82.5
３０mm	4,400	11～20	93.5
４０mm	7,700	21～30	154
５０mm	12,100	31～50	209
７５mm	25,300	51～	242
１００mm	44,000	２５mm以上	
		0～10	0
		11～20	110
		21～30	187
		31～50	242
		51～	291.5

②			
基本料金		従量単価	
１３mm	632	１３・２０mm	
２０mm	632	0～5	47
２５mm	3,795	6～10	94
３０mm	5,060	11～20	107
４０mm	8,855	21～30	177
５０mm	13,915	31～50	240
７５mm	29,095	51～	278
１００mm	50,600	２５mm以上	
		0～10	63
		11～20	126
		21～30	215
		31～50	278
		51～	335

設定案③

・基本水量の廃止　→　13・20mm　0~5㎥単価　45円/㎥

　　→　25mm以上　0~10㎥単価　60円/㎥

・基本料金　→　全口径50%改定

・従量料金　→　全口径10%改定

・13mm,20mm料金（20㎥/月）：1,897円　→　③　2,520円　（＋623円）

・50mm料金(2000㎥/月)：588,335円　→　③　651,330円　（＋62,995円）

現行			
基本料金		従量単価	
１３mm	550	１３・２０mm	
２０mm	550	0～5	0
２５mm	3,300	6～10	82.5
３０mm	4,400	11～20	93.5
４０mm	7,700	21～30	154
５０mm	12,100	31～50	209
７５mm	25,300	51～	242
１００mm	44,000	２５mm以上	
		0～10	0
		11～20	110
		21～30	187
		31～50	242
		51～	291.5

③			
基本料金		従量単価	
１３mm	825	１３・２０mm	
２０mm	825	0～5	45
２５mm	4,950	6～10	90
３０mm	6,600	11～20	102
４０mm	11,550	21～30	169
５０mm	18,150	31～50	229
７５mm	37,950	51～	266
１００mm	66,000	２５mm以上	
		0～10	60
		11～20	121
		21～30	205
		31～50	266
		51～	320

設定案④

・基本水量の廃止　→　13・20mm　0~5㎥単価　46円/㎥

　　→　25mm以上　0~10㎥単価　63円/㎥

・基本料金　13・20mm　→　20%値上げ　　25mm以上　→　30%値上げ

・従量料金　13・20mm　→　13%値上げ　　25mm以上　→　15%値上げ

・13mm,20mm料金（20㎥/月）：1,897円　→　④　2,405円　（＋508円）

・50mm料金(2000㎥/月)：588,335円　→　④　678,580円　（＋90,245円）

現行			
基本料金		従量単価	
１３ｍｍ	550	１３・２０ｍｍ	
２０ｍｍ	550	0～５	0
２５ｍｍ	3,300	6～10	82.5
３０ｍｍ	4,400	11～20	93.5
４０ｍｍ	7,700	21～30	154
５０ｍｍ	12,100	31～50	209
７５ｍｍ	25,300	51～	242
１００ｍｍ	44,000	２５ｍｍ以上	
		0～10	0
		11～20	110
		21～30	187
		31～50	242
		51～	291.5

④			
基本料金		従量単価	
１３ｍｍ	660	１３・２０ｍｍ	
２０ｍｍ	660	0～５	46
２５ｍｍ	4,290	6～10	93
３０ｍｍ	5,720	11～20	105
４０ｍｍ	10,010	21～30	174
５０ｍｍ	15,730	31～50	236
７５ｍｍ	32,890	51～	273
１００ｍｍ	57,200	２５ｍｍ以上	
		0～10	63
		11～20	126
		21～30	215
		31～50	278
		51～	335

設定案⑤

・基本水量の廃止　→　13・20mm　0~5㎥単価　46円/㎥

　　→　25mm以上　0~10㎥単価　68円/㎥

・基本料金　13・20mm　→　20%値上げ　　25mm以上　→　40%値上げ

・従量料金　13・20mm　→　13%値上げ　　25mm以上　→　11～50㎥ 25%値上げ

　　51㎥以上 14%値上げ

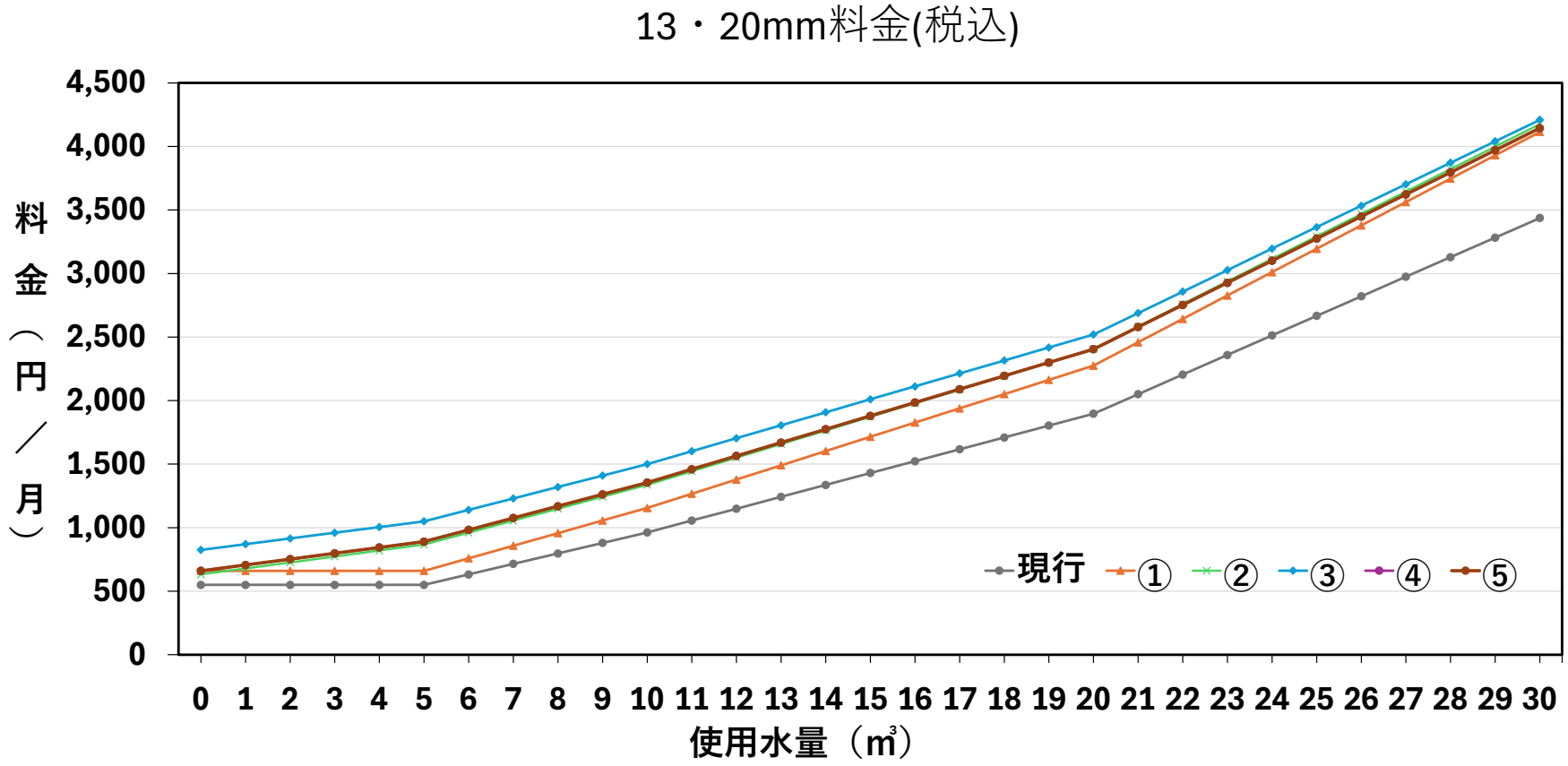
・13mm,20mm料金（20㎥/月）：1,897円　→　⑤　2,405円　（＋508円）

・50mm料金(2000㎥/月)：588,335円　→　⑤　674,760円　（＋86,425円）

現行			
基本料金		従量単価	
１３mm	550	１３・２０mm	
２０mm	550	0～5	0
２５mm	3,300	6～10	82.5
３０mm	4,400	11～20	93.5
４０mm	7,700	21～30	154
５０mm	12,100	31～50	209
７５mm	25,300	51～	242
１００mm	44,000	２５mm以上	
		0～10	0
		11～20	110
		21～30	187
		31～50	242
		51～	291.5

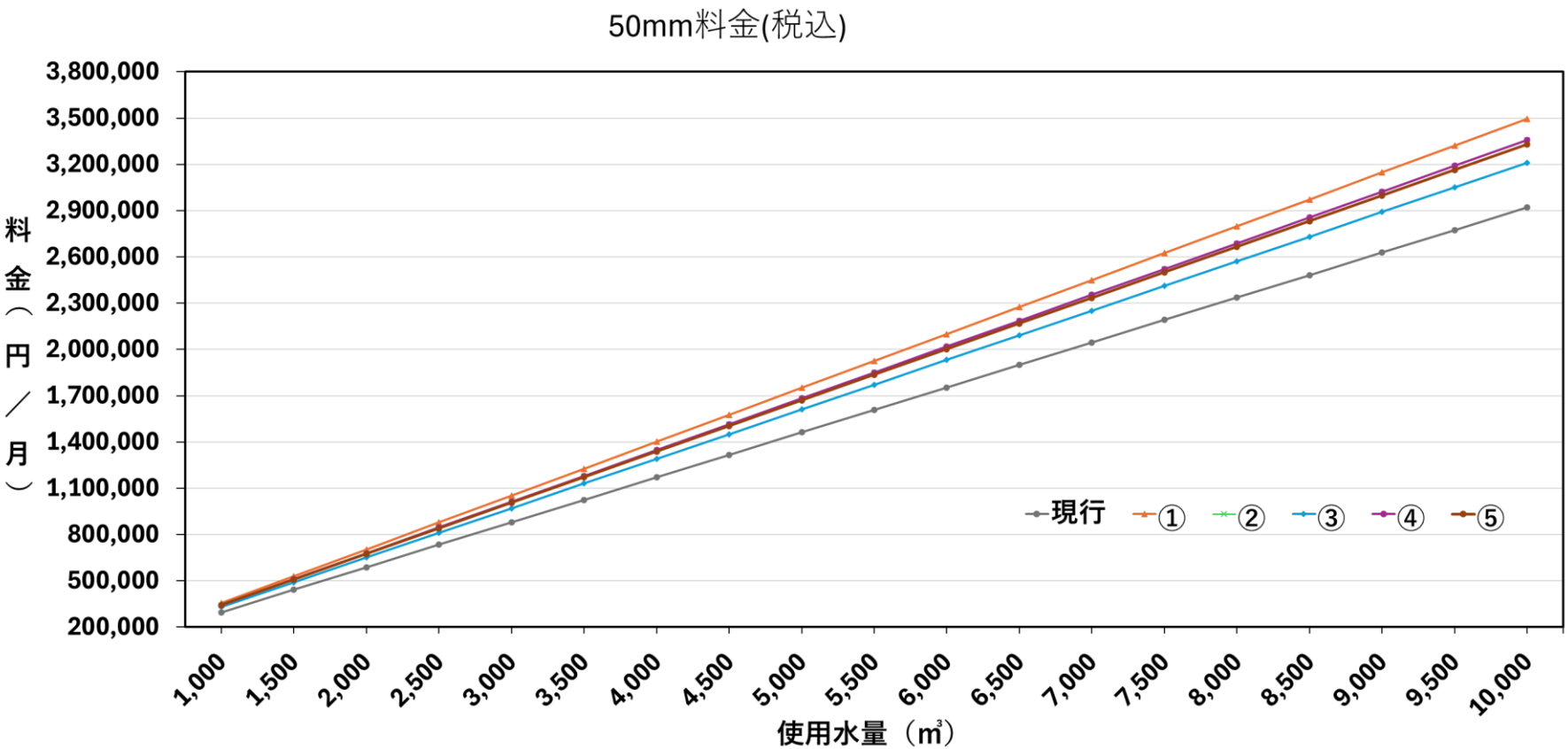
⑤			
基本料金		従量単価	
１３mm	660	１３・２０mm	
２０mm	660	0～5	46
２５mm	4,620	6～10	93
３０mm	6,160	11～20	105
４０mm	10,780	21～30	174
５０mm	16,940	31～50	236
７５mm	35,420	51～	273
１００mm	61,600	２５mm以上	
		0～10	68
		11～20	137
		21～30	233
		31～50	302
		51～	332

使用料金比較



体系案		13・20mm使用料金(20㎥/1か月 税込)	
現行		1,897円	-
①	一律20%改定	2,275円	＋378円
②	基本水量廃止	2,407円	＋510円
③	基本料金>従量料金	2,520円	＋623円
④	家庭用に配慮	2,405円	＋508円
⑤	家庭用・大口に配慮	2,405円	＋508円

使用料金比較



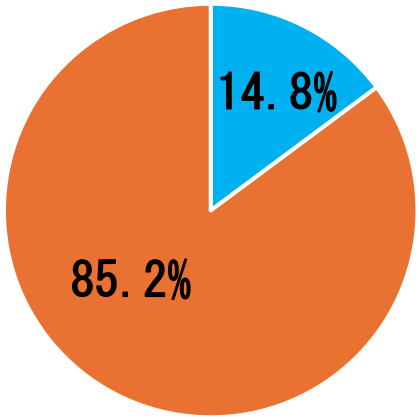
体系案		50mm使用料金(2000㎥/1か月 税込)	
現行		588,335円	-
①	一律20%改定	704,430円	＋116,095円
②	基本水量廃止	676,765円	＋88,430円
③	基本料金>従量料金	651,330円	＋62,995円
④	家庭用に配慮	678,580円	＋90,245円
⑤	家庭用・大口に配慮	674,760円	＋86,425円

基本料金と従量料金の比率

【基本料金と従量料金の比率】
設定案③・④・⑤において、現状よりも基本料金の割合を増加させることが可能である。
特に設定案③の基本料金の割合が高い。

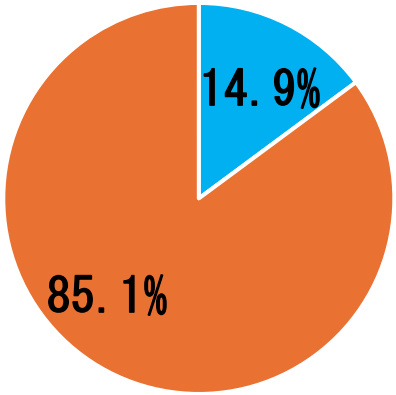
料金算定期間(R8～R12平均)

現状

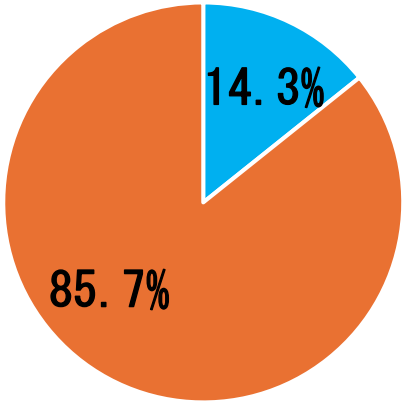


■基本料金 ■従量料金

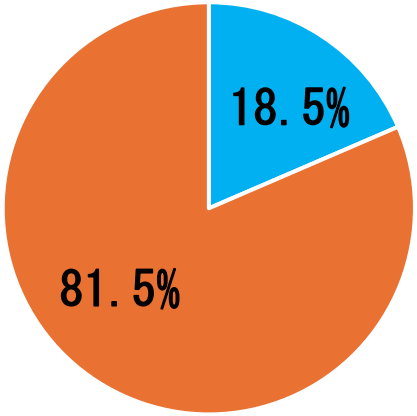
設定案①



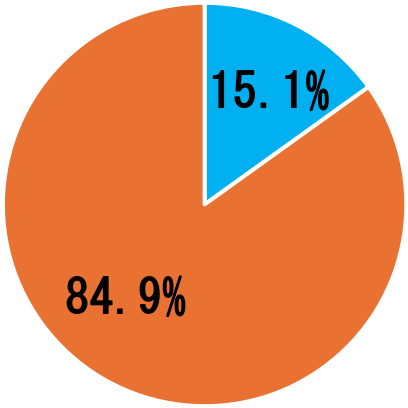
設定案②



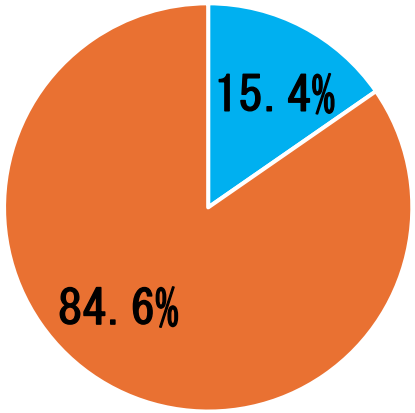
設定案③



設定案④



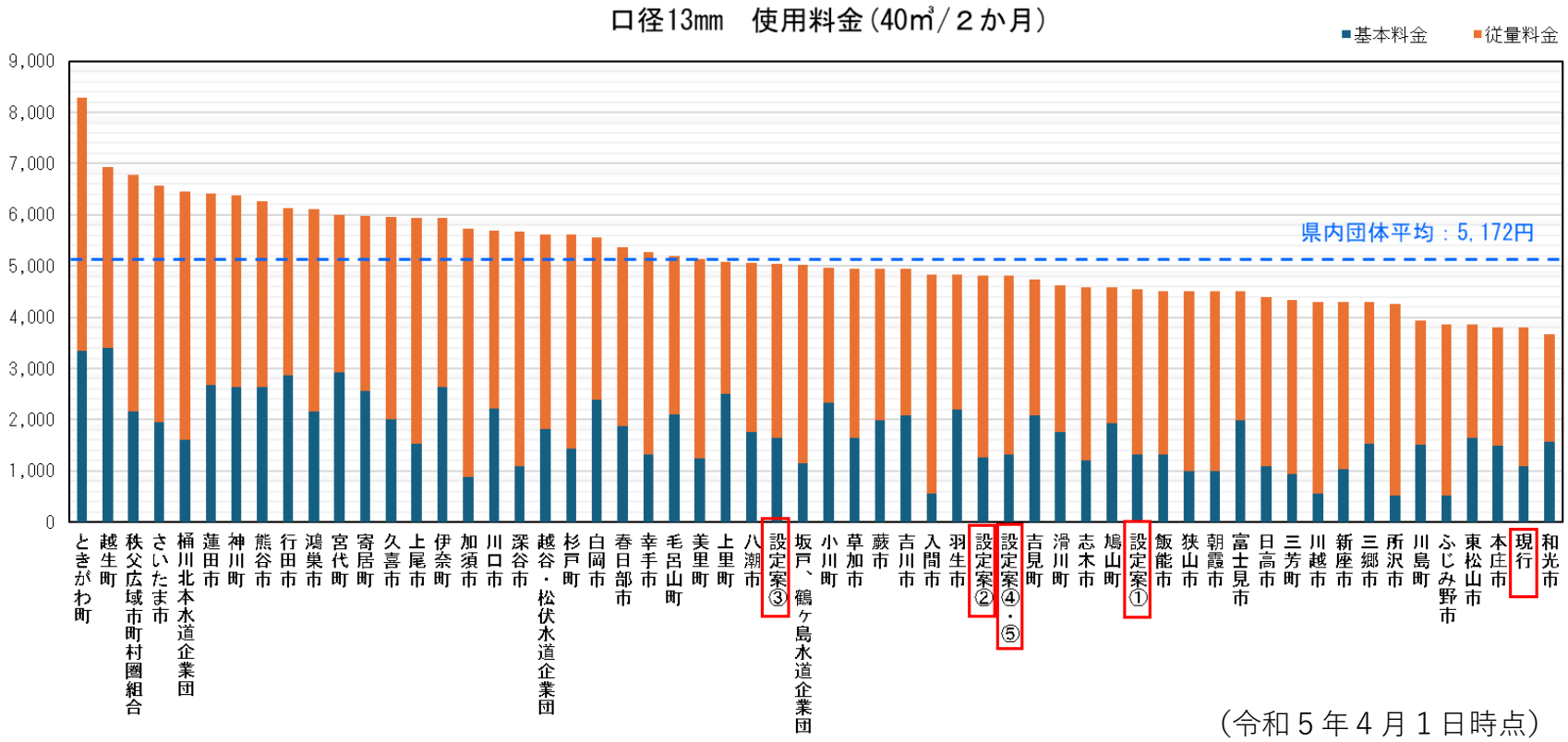
設定案⑤



目標値（総括原価配賦結果）
基本料金：従量料金＝18%：82%

料金比較

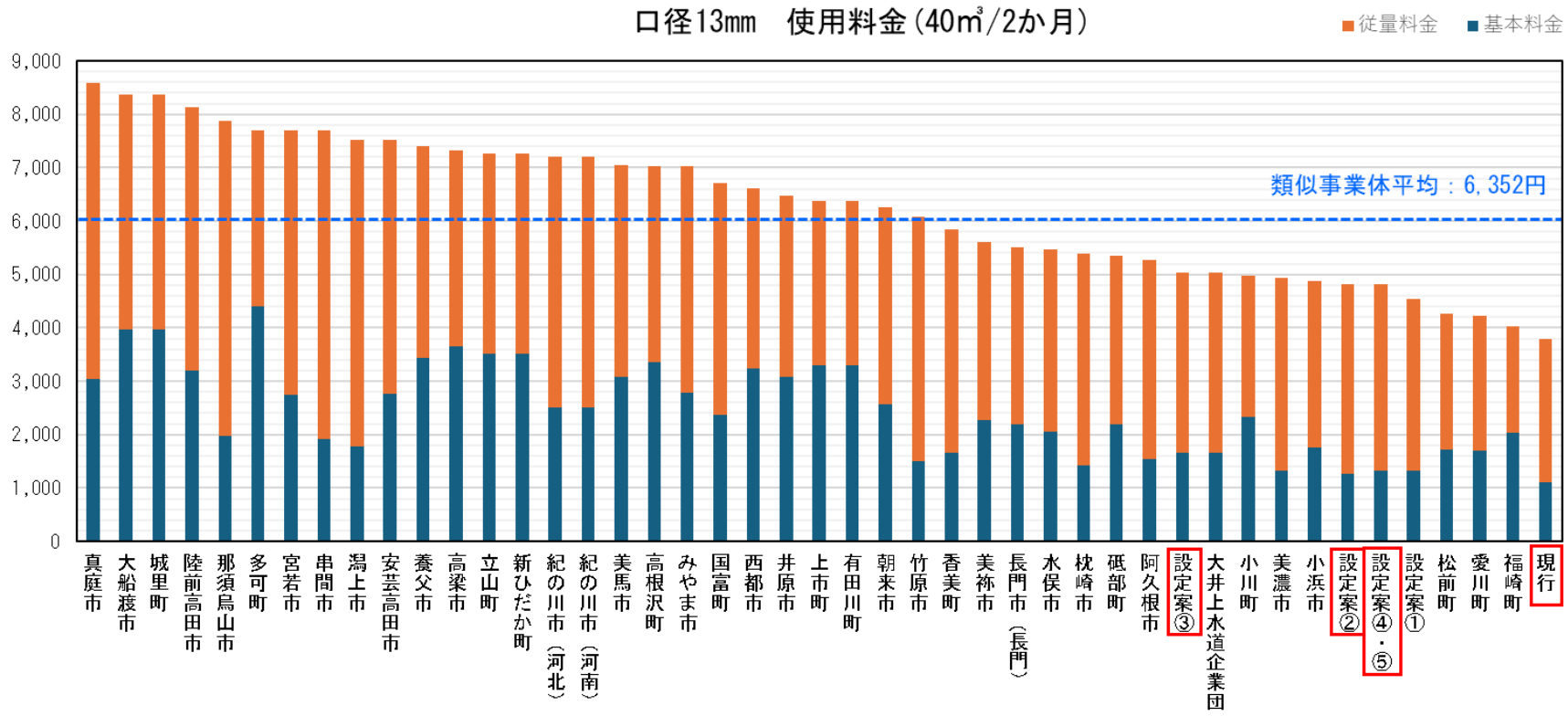
【埼玉県内比較】



（令和５年４月１日時点）

料金比較

【類似事業体比較】



（令和５年４月１日時点）

まとめ

【まとめ】料金体系の基本方針

【設定案①】
- 13・20mmにおける現行料金との差額は最も少ないため、町民への負担が少ない。
- 基本料金と従量料金の値上げ率が同等であるため、現状の基本料金と従量料金の比率は変わらない。

【設定案②】
- 基本水量を廃止することにより、基本料金の比率は現状よりも0.1%低くなる。

【設定案③】
- 基本料金と従量料金の値上げ率は異なるものの、全口径において値上げ率は同等である。
- 基本料金の値上げにより、基本料金比率を現状から3.7%高めることができる。
- 13・20mmにおける現行の料金との差額が大きい。

【設定案④】
- 基本料金の値上げにより、基本料金の比率を現状から0.3%高めることが可能である。
- 口径によって値上げ率が異なる。

【設定案⑤】
- 大口利用者の使用料金の値上げ率が④に比べて低い。
- 基本料金の比率を現状から0.6%高めることが可能である。

→推奨案：設定案⑤

４　今後のスケジュール

・審議会開催予定

審議会開催予定

今後審議会にて、経営戦略の改定及び具体的な料金改定率や料金表とその影響について、ご審議いただく予定です。

審議会	日時	内容
第１回	令和６年１２月１１日	経営戦略と料金改定について
第２回 （今回）	令和７年２月２０日	経営戦略と料金改定ケースについて
第３回	令和７年４月頃	料金改定ケース修正案について
第４回	令和７年６月頃	新料金について 答申